

JBN REPORT

全国工務店協会

6月号

Vol.104
2025

◆令和7年度 全国会員交流会 in 東京開催のお知らせ

令和7年度全国会員交流会in東京を開催することになりました。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

●交流会テーマ

「つなぐ技術、ひらく未来」～脱炭素社会をリードする工務店の力～

●開催日

9月2日(火): 式典・講演 / 講義&ディスカッション / 懇親会 / 展示会
9月3日(水): 分科会 / 展示会

●開催場所

ロイヤルパークホテル(東京都中央区日本橋蛸殻町2-1-1)

●講演「J-CAT戸建て版リリースへ～脱炭素の時代は地域工務店に有利～」

講師: 一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター 理事長 伊香賀 俊治 氏

●講義「この木構造、OK? 構造のもやもやスッキリ解決! セミナー」

講師: 株式会社山辺構造設計事務所 取締役会長 山辺 豊彦 氏

●ディスカッション「おしえて? ディスカッション」

パネラー: (株)参創ハウテック【東京】 / (株)増木工務店【埼玉】
(株)あすなる建築工房【神奈川】 / 山辺 豊彦 氏
モデレーター: フリーライター 大菅 カ 氏

概要
(交流会パンフ)

https://www.jbn-support.jp/document/pdf/kouryukai_inTokyo01_250508.pdf



申込用紙
(参加登録申込用紙)

https://www.jbn-support.jp/document/pdf/kouryukai_inTokyo02_250508.pdf



●分科会プログラム(9月3日)

第1部 分科会 9:00 10:30	A	国産材 委員会	工務店の未来をひらくための国産材の知識 (講師) 木村 司 様 (木村木材工業株式会社 代表取締役)	輸入材が国産材より安くて良い時代は過去のものになりつつあります。自然保護の高まり、地政学的リスク、関税、金利、海外の住宅業界動向など様々な情報を分析し、世界の木材流通の視点から国産材の現状と将来予測を豊富なデータをもとにわかりやすく解説します。
	B	情報調査 委員会	木造建築の燃え方から災害に強い家づくりを学ぶ (講師) 安井 昇 様 (桜設計集団一級建築士事務所 代表)	地震大国・日本では火災などの二次災害も重要な課題です。本分科会では、安井先生を講師に迎え、木造建築における火災リスク対策や防耐火設計の考え方・最新技術を学び、災害に強い住まいと地域づくりの方向性を探ります。
	C	既存改修 委員会	これからの時代は性能向上リノベだ (講師) 新谷 孝秀 様 (株式会社アルティザン建築工房 代表取締役 一般社団法人 日本住宅リフォーム産業協会 副会長)	省エネや快適性向上が求められる中、地域工務店にとって性能向上リノベーションは重要なテーマです。本分科会では、課題整理や最新事例の紹介に加え、200棟超の実績を持つ新谷社長による特別講演を通じて、リノベーションの新たな価値と可能性を探ります。
第2部 分科会 11:00 12:30	D	木造建築 委員会	地域工務店と建築士の連携による木造建築の可能性 (講師) 安井 昇 様 (桜設計集団一級建築士事務所 代表) 松本 洋平 様 (有限会社香山建築研究所)	本分科会では、木造建築の防火性能や最新技術、非住宅建築の事例紹介を通じて、地域工務店と建築士の連携による可能性や受注拡大の方向性を探ります。委員会活動報告も交え、今後の実践に役立つ知見を共有します。
	E	大工育成 委員会	新人大工を求人し、採用・育成する (講師) 大工育成委員会 委員 (大工を正社員化している工務店他)	全国的に大工不足が深刻化する中、大工の育成と確保は工務店にとって喫緊の課題です。本分科会では、社員大工に関するアンケート結果を基に、多くの工務店が抱える「求人活動」に焦点を当て、新人大工の採用に向けた実践的な取り組みや育成事例を紹介します。
	F	環境 委員会	高断熱化で集客力・受注力を上げる (講師) 大木 剛 様 (株式会社樹々匠建設 代表取締役) 菊池 洋壽 様 (株式会社菊池組 常務取締役) 清水 一人 様 (有限会社ダイシンビルド 代表取締役)	「高断熱化で集客・受注力をあげる」をテーマに、性能向上がもたらすビジネス効果を事例とともに紹介。高断熱住宅の設計・施工の工夫や訴求のポイントを共有し、省エネ基準適合義務化を見据えて工務店の競争力強化策を議論します。
第3部 分科会 13:30 15:00	G	経営対策 委員会	独自の取組を行っている工務店事例発表 (講師) 佐原 広祐 様 (有限会社石牧建築 取締役) 大橋 利紀 様 (株式会社リビングプラザ 代表取締役社長) 喜多 茂樹 様 (株式会社エコ建築考房 代表取締役社長)	少子高齢化や法改正など多くの課題に直面する住宅業界。本分科会では、JBN工務店の実態に基づく経営対策の実践と検証を重ね、「生き残れる工務店」を目指す取り組みを紹介。時代の変化に応える3社の事例報告を通じ、今後の経営のヒントを探ります。
	H	次世代 の会	未来の工務店をつくる! AI活用で業務革新と効率化を実現 (講師) 大川 真史 様 (ウイングアーク1st株式会社 / データのじかん主筆)	工務店業務の複雑化に伴い、効率化と品質向上が課題となる中、AIの活用が注目されています。本分科会では、施工現場・設計・顧客対応などにおけるAIの実践的な活用方法を、具体的な事例を交えて解説します。

◆委員会合同会議報告

4月15日(火) 15:30～17:30 場所 オンライン 参加者 13名

4月15日、JBNにおいて各委員会の代表が一堂に会する「委員会合同会議」が開催されました。今年度の分科会内容と事業計画の共有を目的に、活発な報告と意見交換が行われ、JBNの中核を担う委員会活動のスタートとして実りある会合となりました。

まず、各委員会から9月に予定されているJBN全国交流会分科会の概要説明がありました。国産材委員会からは、木材需給の不透明さを背景に、国産材活用の意義や世界的な木材市場動向について、木村委員による講演が予定されている旨が報告されました。情報調査委員会は、防災性の高い木造住宅について、安井氏を講師に迎えて法制度の基本を学ぶ講義を予定しています。

経営対策委員会では、こだわりある家づくりや人材育成に力を入れている3社の取り組みを紹介する事例発表を予定。木造建築委員会は、非住宅木造建築に焦点を当て、実務に資する知見の共有を目指します。大工育成委員会は、採用難への対策をテーマに、求人活動や学校連携の仕組みに注目した

企画を検討中です。

また、環境委員会は、高断熱化に成功している工務店の事例を通じ、性能向上と受注拡大の両立を目指します。既存改修委員会では、北海道の実践的なリノベーション事例を軸に、長期優良リフォームの具体手法を深堀します。さらに、次世代の会では、AIによる業務効率化をテーマにした講演が計画されています。

本会議では、交流会の分科会時間割の調整や、今後の情報共有のあり方についても議論がなされました。あわせて、各委員会から今年度の事業計画も報告され、研修や視察、アンケートの実施など、地域工務店に役立つ企画が多数予定されていることが共有されました。

委員会活動はJBNの知的資産を形成し、会員各社の実務に直結する重要な基盤です。今後の活動を通じて、多様な課題に対する解決策が各地で芽吹くことが期待されます。

◆全木協活動報告

岩手県大船渡市での木造応急仮設住宅の建設報告

岩手県大船渡市で2月末に発生した林野火災において、一般社団法人全国木造建設事業協会（JBNおよび全建総連の2団体で構成）は、大船渡市に木造応急仮設住宅の建設を行い、今月中の引き渡しを予定しています。

建設戸数は2団地・40戸で、施工は岩手県中小建築業協会（JBN連携団体）の会員工務店が中心となって完成から引き渡しまでを担当していただいています。災害発生時に、迅速な行動によって被災者支援に力を発揮できるのが、地元根付いて活動している地域工務店の存在です。

なお次号にて、大船渡の木造応急仮設住宅の完成について報告する予定です。



工務店紹介

Introduction of construction companies

山口県下関市にある、1986年設立の下関ハウジング。2021年より安成工務店グループの一員となり、元々強みとしていた分譲住宅や宅地開発の担い手としてグループ内で存在感を発揮しています。2023年には「モデルハウス10棟同時見学会」を企画し話題となったほか、今年2月には地元工務店5社とともに期間限定の住宅展示場「五郷の杜」をオープンするなど、地域にインパクトを与える取り組みを推進しています。

家づくりにおいては、セルロースファイバーの断熱材「デコス」を標準で採用。性能は確保しながらも、手の届きやすい価格帯を実現し、安成工務店グループの他企業との差別化を図っています。また近年の平屋人気を受けて、平屋

2021年より安成工務店グループに参入 宅地開発・分譲住宅に強み

株式会社 下関ハウジング 田中 博之 社長



に特化したプランも展開。前述の「五郷の杜」でも平屋のモデルハウスを開発し、大きな反響を呼んでいます。

今年の目標は、売上高10億円・着工棟数30棟。安成工務店グループ参入時の売上高が1億5,000万円、昨年の着工棟数が15棟だったことから、その驚異的な成長スピードがうかがえます。

同社では注文住宅と分譲住宅を約半数ずつの比率で手掛けていますが、現在はおよそ50区画の宅地と10棟のモデルハウス（分譲住宅）を保有。宅地や分譲在庫を潤沢に持つことで、増え続ける需要に迅速に対応しています。

グループ参入と同時に社長に就任した田中さんは、安成工務店で長年財務を担当。「銀行対応は得意」と笑いま

すが、田中さんの知識と経験も、同社の成長を支える大きな要因の一つです。

従業員数も、この4年で6名から18名へと3倍に増加。「人数が増えた分、部署間の行き違いが起こることもある。そういう時は間に入って、チームワークを良くしていくのが自分の仕事」と話す田中さん。社長自らが社内のコミュニケーション活性化に一役買い、人とのつながりや協調性を大事にする職場環境が、好調な業績を支えるもう一つの大きな要因と言えそうです。

▶同社の施工例。意匠にこだわりつつ、家事動線や収納にも配慮するなど、主婦の目線を取り入れた仕様が好評を得ている。



関連事業者紹介

Introduction of related businesses

NJS日本住宅新聞社は、1975年に全国の工務店15社の出資により設立されました。当初は住宅建築工法の技術開発に関する研究機関として活動していましたが、その後「日本住宅新聞」を発刊。現在は月3回の発行で、最新技術や法改正、補助金制度、各省庁の政策動向といった情報の発信を強みとし、工務店経営者、メーカー、流通業者など幅広い読者層に支持されています。

「業界底上げに貢献することを目指している」と編集部の池田さんが言うように、同紙最大の特長は中小工務店に寄り添う実務的な情報を収集・提供していること。今年4月に実施された法改正に当たっては、関連情報を積極的に取り上げてきました。法制度や補助金

“複雑な情報を分かりやすく” 法改正・補助金関連の情報発信に強み

株式会社 NJS日本住宅新聞社 池田 光識 さん



に関する情報は、いち工務店が独自に詳細を把握することが難しいという実情を踏まえ、「複雑な内容を因数分解して、現場に分かりやすく伝えるのが私たちの役割」と池田さんは話します。また、連載1,300回以上を数える「私の工務店経営」では、工務店経営者へのインタビューを通して経営ノウハウや理念など生の声を紹介。さらに、JBNをはじめ工務店団体とも接点を持ち、業界の先進的な動向を広く発信する紙面作りに努めています。

住宅着工数の減少、若い職人の確保と育成、事業承継など、課題が山積する住宅業界。その中でも池田さんは、2030年の省エネルギー基準への対応を重要な転換点と捉えています。

「2030年にはZEH水準が最低ラインになります。これに対応する技術をいち早く獲得し、同時にいかに他社と差別化した家づくりができるかが今後の工務店経営の鍵になるのでは」と池田さん。多くの工務店を取材してきた経験から、変化への素早い対応と独自性の確立が重要であると指摘します。

より良い経営判断の一助となる情報発信を通して、日本住宅新聞は今後も工務店業界の持続的な発展を支え続けます。

▶日本住宅新聞の紙面。中小企業の実務に即した最新情報を分かりやすく伝える。



◆第18期代議員総会開催のお知らせ

●開催日：令和7年6月30日（月）

○受付時間 14:00～

○第1部 代議員総会 14:30～15:50

○第2部 基調講演 16:00～17:00

講師

- ・国土交通省 住宅局 住宅生産課ご担当者（予定）
- ・西山 茂樹 様
（国土交通省 総合政策局 社会資本整備政策課長）

○第3部 懇親会 17:15～19:00

●会場

ロイヤルパークホテル東京・日本橋 2階「有明の間」

〒103-8520 東京都中央区日本橋蛸殻町2-1-1

TEL：03-3667-1111

●アクセス

○羽田空港より

T-CATまでリムジンバスで約25分（ホテル隣接）

○地下鉄

東京メトロ半蔵門線「水天宮前駅」直結（4番出口）

東京メトロ日比谷線「人形町駅」徒歩5分（A2出口）

都営浅草線「人形町駅」徒歩8分（A3出口）

ホテル公式サイト
はこちら



時刻表や運賃の確認
はこちら



電車やお車での
アクセスはこちら



◆【技能五輪全国大会・技能グランプリ】建築大工職種に出場してみませんか？

技能五輪・技能グランプリとは…

技能五輪は、建築大工職種を含む全国の青年技能者（原則23歳以下）を対象とした競技会で、年に1回開催されています。一方、技能グランプリは、一級級技能士などを対象に2年に1回開催され、各職種における日本一を決める全国大会です。全国から技能に秀でてきた大工さんなどが出場し、ハイレベルな競技会になっています。主催は、中央職業能力開発協会です。

なお、技能五輪国際大会を翌年に控える年の大会は、国際大会で競技の実施が見込まれる関連職種に出場する選手の選考も兼ねています。

JBNは、両大会の建築大工職種において、競技委員・競技補佐員・運営委員を担当し、運営団体として大会に関わっています。

今年で63回目を迎える技能五輪は、今年度は10月17日～20日に愛知県国際展示場において開催されます。建築大工職種の競技日は、18日（土）・19日（日）で、一般の方の観覧も可能です。

また、第33回目となる技能グランプリは、令和8年2月27日～3月2日までインデックス大阪において開催されます。建築大工職種の競技日は、28日（土）、3月1日（日）を予定しており、こちらも一般の方の観覧が可能です。

JBN会員工務店からも、毎年多くの大工さんが出場しており、これまで毎年入賞しています。大会への参加を希望される方は、各県の職業能力開発協会にお問い合わせください。興味があるかたは、ぜひご出場ください！

また、不明点については、JBN事務局へお問い合わせください。

刊行物のご案内（刊行物のお申込みはJBNホームページをご覧ください。）



マナーアップハンドブック 【工事現場編】

手帳サイズ 32ページ

挨拶の基本から現場近隣の挨拶まわり、車の止め方、身だしなみ、言葉づかいなど現場マナーの基本をご紹介します。



中大規模施工施工管理マニュアル&講習会アーカイブ動画の紹介

A4版 87ページ

（正会員専用ページの動画アーカイブにて動画および資料がご覧になれます。）

JBNは国土交通省令和3年度環境・ストック活用推進事業の支援により、木造住宅を中心に事業展開する大工・工務店が新たに非住宅木造建築の分野に参入することを想定した、地域工務店向けの「中大規模木造建築物の施工管理マニュアル」を作成しております。PWAで整備されている「構造木工事監理マニュアル」と併せて利用することにより、非住宅建築に求められる安全で高品質な木造建築物が我々の手で確実に施工されることを期待しています。

JBNはさまざまなご相談（技術、法律、支援等）をお受けしております。

ホームページ（トップページの最下欄）のお問合せフォームをご利用いただくか、下記へお問合せください。



【発行・お問合せ】

一般社団法人JBN・全国工務店協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階

Tel.03-5540-6678 Fax.03-5540-6679 E-Mail:jbn@jbn-support.jp URL:https://www.jbn-support.jp